

## 西東京支部青年部報告

### 1、 自己紹介

### 2、 西東京支部の状況

現在、西東京支部は 70 人の部員がいますが、部会や青年部イベントの継続的な参加者は 6 人となっております。先進的な支部に比べ小さな青年部ですが、2 年前の当初は当時の部長の雨宮君(現後継者対策部長) 2 名からのスタートで、雨宮後継者対策部長にもサポートしていただきながら、支部・ブロックのイベントなども通じて、昨年から徐々に活動する仲間が増えてきました。

### 3、 拡大と独自イベント今後の展望について

春には、部会で「何故青年部を大きくするのか」を話し合い「部員からの紹介を！」と訴えをつよめました。部員(名前の登録のみとなっている)を中心に訪問、オロナミン C を配りながら新入部員歓迎会に呼びかけていきました。留守が多く結果、1 ケタの訪問件数となりました。定着している部員からの協力・紹介で「6 月新入部員歓迎会」では 10 人を超える仲間があつまりました。内 1 名が組合への同時加入となりました。

秋の行動では訪問行動を中心に取り組み、「11 月新入部委員歓迎会☆初参加者は無料☆」、「12 月ディズニーシー」を目玉に、まずは飲んで、それから交流していこうと計画をしました。直属の事業所(地域分会ではない)は青年層が多くいることが分かり、担当書記と訪問対話を行い、結果、直属事業所から家族でディズニー企画(全体で青年部員・家族 16 人が参加)に参加してくれたのは本当にうれしかったです。

新年会も新たにとりくみ(支部 4 役、部員 5 名)で交流し、激励もいただきました。住宅デーでは独自企画(飴つかみどり・着ぐるみ)で各会場へ参加しました。

月間での反省点としては、①地域分会センターの訪問が出来なかったこと、②行動日がのべ 4 日程度となってしまったことなど、これからの改善点は多くあります。現在は担当書記と二人三脚での行動が中心となる現状ですが、今年は、計画的に、「つながりが強くなってきている部員」を誘い、大きな行動を計画していきたいと思っています。

### 4、 多摩北ブロックを通じて

他支部の経験を良く学べ、自分の支部で活動も頑張ろうと思った経験からもブロックの活動は有意義だと思います。西東京支部はブロックの力も借りて、徐々に発展してきた経過があります。

当時の西東京支部は 2~3 人ほどの集まりで、イベントをやるのも、企画や呼びかけにも苦労していました。ブロックでは多くの職種、働き方もそうですが、色々な個性を持った仲間が存在しています。組合活動を本気で頑張っている同世代の役員が多くいました。

ブロックのイベントのメリットは、「大きな構え」(予算・規模・内容・意義)になることだと思います。支部単独では出来ないイベントへ積極的に参加し、呼びかけていきました。税金や TPP 学習会またソフトボールやフットサルやスキーツアー、福島への復興支援などイベントを通じて色々な事を学びながら、交流できました。特に復興支援では参加した支部の仲間から「参加出来て良かった」と聞き、うれしかったです。(※ここでは報告しませんが別紙に復興支援取り組みを掲載します。)

このような経験からも、「支部を盛り上げていき」→「ブロックを盛り上げていき」→「支部に返す」→のサイクルで助け合いながら、青年部活動を発展させる決意です。以上報告を終わります。



## 北ブロック青年部被災地ボランティアについて \* 西東京支部報告



9月21日、22日に福島県高久第4仮設住宅で「復興支援住宅デー」を青年部北ブロックで取り組みました。全体で23人が参加、西東京支部からは本間青年部長、雨宮後継者対策部長、柳原青年部副部長、波多野分会長（第2）宮内担当書記の計5名が参加し、包丁研ぎを担当しました。全体では持ちつき、焼きそばなどの飲食、子ども工作教室を実施、400人以上の来場があったと思います。取り組みアンケートでは「このような企画をもうけていただいて本当に良かった。若者がこれほど集い奉仕する姿に将来が明るくなると信じます。」等ありました。

21日には福島被災地、「富岡駅」を見学し、津波被害にあった当時のままの状態「復興・復旧が何も進んでいない状況」を目の当たりにしました。

参加した部員からは「不安もあったが被災者の方が笑顔で楽しんでいただけた結果となって、本当によかった。」「58丁の包丁研ぎ大変だったが、感謝され疲れも吹き飛んだ」「来年も同じ場所で開催したい。継続的にボランティア取り組みよう！」「多くの仲間に被災地の現状を語っていくこと、多くの仲間に参加を呼び掛けることが重要」など感想がありました。包丁研ぎに関して第8分会（地域分会）からの道具の提供、事前の包丁研ぎ学習など本間副委員長・佐藤常任に協力していただきました。

